

令和元年度

第1回永明公民館運営推進委員会

日 時：令和元年7月11日（木）

午前10時00分～

場 所：永明公民館 第一会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 正副委員長の選出
- 4 挨拶（正副委員長）
- 5 議 題（議長：委員長、説明：公民館長）
 - (1) 平成30年度永明公民館利用状況等について
 - (2) 令和元年度永明公民館事業等について
 - (3) その他
- 6 閉 会

永明公民館運営推進委員会名簿

(任期 令和元年7月1日～令和3年6月30日)

No.	役職	氏名	役職名	備考
1	委員	相原 吉次	木瀬中学校長	
2	委員	鈴木 尚道	青少年健全育成会会長	
3	委員	関口 修一	社会福祉協議会会長	
4	委員	小成田 邦郎	公民館利用グループ連絡協議会会長	
5	委員	木村 公子	更生保護女性会永明支部長	
6	委員	屋内 和子	食生活改善推進員会会長	
7	委員	関口 清治	自治会連合会会長	
8	委員	島田 剛志	民生児童委員協議会会長	
9	委員	深谷 茂	生涯学習奨励員連絡会会長	
10	委員	三村 都茂子	保健推進員会会長	

平成30年度公民利用状況報告

館名： 永明公民館

月	利用者数及び件数						主権事業		陶芸窯 実費徴収		計		(平成29年度)		
	有料		免除(市関係含む)		免除額(円)		利用件数	参加人員	件数	収納額(円)	件数	参加人員	件数	参加人員	
	利用件数	参加人員	利用件数	参加人員	免除額(円)	利用件数	参加人員	利用件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	41	683	155	4,123	138,160	4	76		0	200	4,882	178	2,455		
5月	29	205	156	2,118	128,530	11	1,873		1	196	4,196	185	4,502		
6月	29	183	174	2,271	155,090	10	460		1	213	2,914	217	3,490		
7月	42	349	160	2,104	144,100	18	442		2	220	2,895	196	3,032		
8月	40	303	132	1,877	122,890	17	461		2	189	2,641	188	2,986		
9月	35	362	161	2,056	136,040	7	172		2	203	2,590	201	2,588		
10月	25	206	159	1,994	140,880	11	277		2	195	2,477	266	3,033		
11月	38	451	148	2,048	123,410	52	3,208		0	238	5,707	251	6,209		
12月	31	411	136	2,321	103,030	1	40		1	168	2,772	205	3,758		
1月	28	248	138	2,547	106,480	0	0		1	166	2,795	189	3,135		
2月	35	277	148	2,120	116,970	2	74		2	185	2,471	198	2,844		
3月	37	365	154	2,326	127,240	2	65		1	193	2,756	205	2,851		
計	410	4,043	1,821	27,905	1,542,820	135	7,148		15	2,365	39,096	2,479	40,883		

平成30年度公民館利用状況報告(利用団体別)

永明公民館

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(H29)
	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数	件数 人数		
公共団体	16 372	26 459	28 366	23 309	13 411	25 335	19 284	29 450	28 805	20 326	31 642	27 677	285 5,436	393 7,903
青少年団体	14	9	17	9	1	16	9	16	21	18	9	13	152	159
女性団体	180	235	312	124	20	239	115	312	444	919	131	232	3,263	5,944
成人団体	2 54	3 102	1 37	1 37	1 37	2 51	2 49	1 37	1 37	2 40	2 41	4 125	22 647	21 589
成人団体	158 4,072	142 1,448	153 1,683	165 1,790	154 1,658	150 1,744	151 1,701	127 1,465	113 1,316	121 1,444	134 1,477	142 1,579	1,710 21,377	1,720 19,451
高齢者団体	3 91	2 46	2 45	3 185	2 46	2 46	2 46	2 45	2 45	2 48	2 48	3 55	27 746	27 768
主権事業	4 76	11 1,873	10 460	18 442	17 461	7 172	11 277	52 3,208	1 40	0 0	2 74	2 65	135 7,148	124 5,861
企業その他	3 37	3 33	2 11	1 8	1 8	1 3	1 5	11 190	2 85	3 18	5 58	2 23	35 479	35 367
合計	200 4,882	196 4,196	213 2,914	220 2,895	189 2,641	203 2,590	195 2,477	238 5,707	168 2,772	166 2,795	185 2,471	193 2,756	2,366 39,096	2,479 40,883

永明市民サービスセンター業務

1 証明関係

(平成30年度)

項目	件数(件)	金額(円)	前年比(件数)
戸籍謄、抄本	1,914	1,037,300	58
住民票、証明	4,192	1,467,200	△ 358
印鑑証明、登録	3,827	1,339,450	△ 188
身分証明等	59	20,650	△ 58
年金証明等(無料)	7	0	△ 11
税証明関係	1,861	651,350	△ 207
〃(無料)	1,122	0	9
合計	12,982	4,515,950	△ 755

2 市税等の収納事務

(平成30年度)

項目	件数(件)	金額(円)	前年比(件数)
市県民税	179	4,093,900	25
固定資産税	293	6,069,400	△ 25
軽自動車	95	643,500	△ 12
その他	67	894,296	3
国保税	201	4,748,000	16
後期高齢者	92	1,740,500	△ 4
介護保険	50	369,400	11
合計	977	18,558,996	14

3 各種募金等の収納事務

(平成30年度自治会扱)

項目	金額(円)	備考(前年比)
日赤社費	1,213,800	△ 30300
赤い羽根共同募金	1,606,728	△ 16664
歳末助け合い募金	1,093,265	△ 11337
合計	3,913,793	△ 58301

名所・旧跡

刑場跡供養塔(天川大島町)
 百体観音(上大島町)
 養經の腰掛石(下長磯町)
 お上人の大榎(下長磯町)
 小島田の阿彌陀様(小島田町)
 牛頭天王の獅子頭(駒形町)
 梨昌翁の頭影(下大島町)など



刑場跡供養塔



百体観音



牛頭天王の獅子頭

梨昌翁の頭影碑

教育・文化

永明小学校合唱団
 (TBS合唱コンクール
 真日本大会出場)



【ウクレレを活かした社会教育】



夏休み中の子どもウクレレ教室

【共愛学園前橋国際大学との連携】

子育て・親子支援事業(永明・共愛子育て広場)
 初級パソコン講座
 文化祭(模擬店・舞台)



【伝統文化の継承】



下長磯操線式三番罾(県指定無形文化財)

永明地区の地域資源

永明地区の概要

13自治会	天川大島町本町、天川大島町原町、天川大島町住宅、野中町、上大島町、上長磯町、下長磯町、女屋町、東上野町、小島田町、駒形町、下大島町、下大島西団地
面積	永明地区 10,268.0 km ² ※市全体 311,585.7 km ²
永明地区	人口総数 21,984人 生産年齢(15-64歳) 13,776人 老年(65歳以上) 5,207人
H24.3.31	世帯数 8,859戸 2,728人 2,941人 6,496人
H31.3.31	9,988戸 2,941人 2,13人 1,289人
推移	1,124戸 744人 -585人
推移率	-12.7% 7.8% -4.2%
	-4.2%
	-24.8%

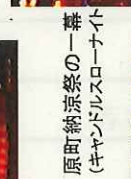
永明地区防災マップより
 抜粋(地域づくり協議会)



にぎわい・交流



駒形町夏祭り



原町納涼祭の一幕
 (キャンドルスローサークル)



文化祭や運動会における住民交流



健康推進員お勤めウォーキングマップ(梨畑の小道)

交通網

【JRR阿毛線】
 前橋大島駅(天川大島町)
 駒形駅(小屋原町)
 【北関東自動車道】
 駒形インターチェンジ(駒形町)
 【主要地方道】
 国道50号線(天川大島町~小島田町)
 前橋館林線(天川大島町~駒形町)
 藤岡大胡線(小島田町・駒形町)

地域づくり協議会

【総務広報部会】 地域づくり推進大会開催
 【安心安全部会】 防災講座 LPガスバルク吹き出し訓練
 【健康づくり部会】 健康ウォーカーキング大会 健康づくり講座
 【世代間交流部会】 世代間交流ボートリング大会、家族料理教室



地域ブランド

赤城の恵「大島梨」の栽培と直売
 ウクレレの国内シェア約70%
 娯楽サービス業...複合遊戯場・パチンコ店・日帰り温泉施設



大島梨の栽培



ウクレレ生産



清酒醸造元



情報通信産業

地域の特性

製造業

事業所数 145社 (第1位)
 従業者数 2,714人 (第2位)

情報通信業

事業所数 9社 (第5位)
 従業者数 835人 (第1位)

娯楽サービス

事業所数 88社 (第2位)
 従業者数 830人 (第2位)

※経済センサス(H26.7.1現在)より

永明地区は、梨畑など豊かな農業地帯に隣接して、古くからの木工団地と、新たな娯楽サービス業が併存する。最近では、工場用地から住宅地へと変化し、定住人口が増加している。農業・工業・サービス業など、町ごとに特色が大きく異なる地域。

永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2019（願い・思い編）

①. みんなで子育てするまち=子どもがすくすく育つまち

- ・ふれあいを通してより良い親子関係を築く
- ・公民館の講座や地域事業を通して子育ての悩みや不安が解消される
- ・親どうし、子どもどうしの仲間づくりが進む
- ・お父さんが子育てに関わる機会が増える
- ・母親と子どもの人権が尊重される
- ・穏やかな心で子どもに接することで、虐待がなくなる
- ・地域みんなが子育てを応援するという意識が高まる
- ・安心して子育てができるまちになる



④. 地域の歴史や文化を大切に守るまち

- ・公民館の講座や地域行事を通して、地域の歴史や文化に対する興味を高める
- ・古文書の解説などから、地域の歴史を知る
- ・歴史的資産を大切に保存し、次世代に受け継ぐ
- ・石造物・石仏等を大切に保存し、行事等に活用する
- ・重要無形文化財等を大切に保存し、次世代に継承する
(下長磯町横翁式三番叟、駒形町祇園祭など)
- ・健康ウォーキングコース沿いの文化財を、地域住民に広める
- ・地域への誇りや愛着を高める



②. 青少年が明るく元気に育つまち

- ・「のびのびくごどものつどい」で体験の場を提供する
- ・「子どもを明るく育てる地区別会議」を充実させる
- ・公民館講座の体験型・チャレンジ型メニューを充実させる
- ・小中学生を主役とした地区行事を開催する
- ・地域寺子屋により多くの中学生が公民館に集い交流する
- ・地域住民に力を披露する機会を設ける(合唱、吹奏楽、ウクレレ等)
- ・青少年育成団体のマンパワーを活かして子どもたちを育てる



⑤. 地域ブランドを活かして郷土愛を培うまち

- ・幅広い世代を対象に、ウクレレの魅力との出会いを提供する
- ・大島梨を活用し、地域の元氣につなげる
- ・地域に根ざした行事食を盛り起こし、郷土愛を醸成する
- ・地元企業と連携し、新たな地域ブランドの創出を目指す



③. 地域とのつながりの中で元氣な生活を築き上げるまち

- ・自主学習グループを支援して、住民のつながりの輪を広げる
- ・公民館講座や自主学習活動を通じて、住民の居場所づくりや仲間づくりを推進し、互助・互助の意識を高める
- ・老人クラブ連合会の協力により、若さを保つ秘訣を地域に伝える
- ・健康ウォーキングマップを活用して健康増進につなげる
- ・保健推進員や食生活改善推進員と連携し、保健衛生の向上とともに健康寿命の延伸にもつなげる



地域づくり協議会と協働した取り組み

- ◆ 地域づくり推進大会の開催、地域づくりニュースの発行
(総務広報部会)
- ◆ LPガスバルクを活用した防災炊き出し訓練、防災講座の開催、救急救命訓練等の実施
(安心安全部会)
- ◆ 健康ウォーキング大会、健康づくり講座の開催
(健康づくり部会)
- ◆ 世代間交流ボートリング大会、家族料理教室開催
(世代間交流部会)

⑥. 地域の豊かな人材を活かして住民同士がつながるまち

- ・共愛学園前橋国際大学と連携して、地域課題の解決に貢献する
- ・自主学習グループの人材を活用して、互いに学びを高める場を提供する
- ・学術的な機関による出前講座を活用して、住民の学習ニーズに応える
- ・地域で活躍する歴史研究者や生涯学習要員等の協力を得て、学習意欲を向上させ郷土愛の醸成につなげる
- ・自主学習グループでの学びあいの中で、新たな人材の発掘につなげる

- ・スポーツを通して住民同士がつながり、健康の増進につなげる
- ・青少年育成団体が主体的に子どもたちと関わり、健全育成に貢献する



永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2019(仕掛ける・つながる・つなぐ編)

公民館という仕掛け(運営方針)

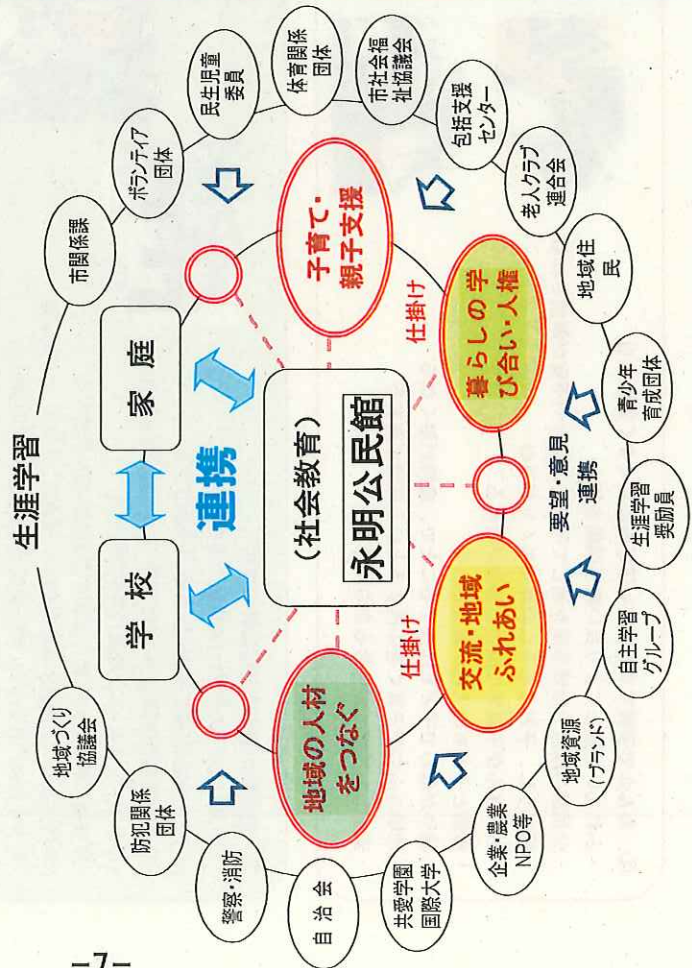
- (1) 公民館は、住民にとつての居場所であり、交流拠点でもあるので、気軽につどい、共に学び、つながる場を提供し、地域社会に密着した公民館運営を推進する。
- (2) 地域団体や関係機関との連携・協力のもと、地域の今日的課題や住民ニーズに沿った講座を開催し、その成果を地域に還元することができている人材を輩出する。
- (3) 地域の資源(地域ブランド)を生かして、地域の連帯感や郷土愛の醸成を図ることにより、住んで良かったと思える、未永く明るい(永明)公民館づくりを行う。

永明公民館 分野別の仕掛け(重点施策)



永明地区の
願い・思い

仕掛けのイメージ



子育て・親子支援に関する仕掛け

- ・孤立しがちな母親への学習機会を提供
 - ・親子のふれあいを取り入れた子育て・親子支援事業の実施
 - ・父親の子育てへの参画を促進する講座の実施
 - ・地域で子育てを応援する取り組みの推進
- 【連携・協力】子育て支援課、共愛学園前橋国際大学、保健推進員、民生児童委員、ボランティア団体、食生活改善推進員、その他地域団体 等

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け (より良い生活づくり)

- ・地域福祉の充実、人権が尊重される社会を目指す、幅広い世代に対応した講座の開発
 - ・青少年体験・チャレンジ活動として、子どもたちの好奇心や学習ニーズに対応した体験型教室の開催、青少年を主役にした行事による健やかな成長を支援。地域寺子屋での自主学習支援
 - ・壮年・若者など公民館活動に縁の少ない住民を呼び込む事業や健康づくり事業等の実施
 - ・住民一般には、健康寿命の延伸を目指す事業実施、地域社会に寄与し続ける環境づくり、生活支援が必要とされる住民や障害者に対する見守りなど共助による地域福祉の推進
- 【連携・協力】老人クラブ連合会、共愛学園前橋国際大学、公民館学習グループ、保健推進員会、青少年育成団体、体育関係団体、民児協、市社協、包括支援センター、その他地域団体

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け (地域資源の活用)

- ・地域の文化遺産の掘り起こしによる事業の企画
 - ・地域に埋もれた古文書や石造物等の歴史的遺産の発掘と活用
 - ・投資の産物である地域ブランド(ウクレレや大島梨等)を活かした事業の企画
- 【連携・協力】地域づくり協議会、共愛学園前橋国際大学、ウクレレ製造会社、公民館学習グループ、泉樹組合、JA、酒造会社、その他地域団体 等

地域の人材をつなぐ仕掛け (自主学習グループ・奨励員活動支援等)

- ・高等教育機関との連携：多様な教育資源を有する共愛学園前橋国際大学と多方面において連携し、その知的財産を地域住民に還元し、地域に根ざした人材育成につなげる。
- ・知の循環：生涯学習奨励員や自主学習グループへの活動支援とともに、近隣の教育機関との連携協力による公民館講座の運営側に参画を促し、知の循環につなげる。
- ・地域づくり協議会との共催：地域づくり協議会の活動(安心安全、健康づくり、世代間交流)と、公民館事業との連携のあり方を研究し、地域づくりの担い手育成につなげる。
- ・様々な地域団体との連携：防災、防犯、見守り等の実施により、安全なまちづくりを目指す。

① みんなで子育てを
するまち=子ども
もがすくすく育つ
まち

② 青少年が明るく元
気に育つまち

③ 地域とのつながり
の中で元氣な生活
を業しめるまち

④ 地域の歴史や文
化を大切に守るま
ち

⑤ 地域のブランドを
活かして郷土愛を
培うまち

⑥ 地域の豊かな人
材を活かして住民
同士がつながるま
ち

永明公民館 令和元年度事業(講座)

R1.7.11現在

分野別の仕掛け	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定
子育て、親子支援に関する仕掛け	えいめい、きょうあいう子育てひろばく全6回	就学前の子どもの保護者(20名、託児付) ①ひとりでがんばっていませんか? ②コロナとカラダからのメッセージを感じよう ③自分の体いたわってますか? ④子育てはだれがする? ⑤子どもの人権 ⑥子どものころ・親のころ	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター	①子育てに本当に必要なことは何かを考える。 ②ストレスや不安の原因を考え、対処方法を知る。 ③参加者どうし、悩みや知恵を共有する。 ④地域での仲間づくりを図る。 ⑤男女共同参画講座および人権講座の一環とする。 ⑥共愛学園前橋国際大学と連携して取り組むことで、効果を一層高める。	6月5日～ 7月10日
	ベビープログラムく全4回	2～5ヶ月の第一子(平成31年4月4日～令和元年8月3日生まれ)と母親(桂萱、城南公民館との共催事業)	BPFアシリテーター(市子育て支援課職員)	①初めて子育てをすする母親が、安心できる雰囲気の中で子どもとふれ合い、親子の絆を深める。 ②同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。 ③乳児期の育児についての必要な知識を学ぶ。 ④育児に対する不安を軽減する。	10月3日～ 10月24日
暮らしの学び合い・人権生活づくりに対応する仕掛け(より良い生活づくり)	親子の食育教室(親子で料理、12組)	親子の食育教室(親子で料理、12組)	永明地区食生活改善推進員会	①夏休み中に、学校区や学年が違いう子どもたちが集まる機会を設け、地域の子どもの仲間づくりを図る。	8月22日
	宿題おたすけ教室(絵画・ポスター、30名)	宿題おたすけ教室(絵画・ポスター、30名)	永明水彩画クラブ	②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。	8月6日・ 7日
	こども料理教室(1・2年、3年以上、各24名)	こども料理教室(1・2年、3年以上、各24名)	永明地区食生活改善推進員会	③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることを知の循環を図る。また、地元企業やNPOを講師にすることで、地域資源の活用を図る。	7月25日・ 8月1日
	わくわく体験教室(プログラミング体験教室、1～3年、4～6年各15名)	わくわく体験教室(プログラミング体験教室、1～3年、4～6年各15名)	㈱ジーシーシースタッフ	④おはなし会開催時に、停本所の「こわい本」を貸し出す事で、停本所の利用促進や読書普及を図る。	7月24日 (午前・午後)
	わくわく体験教室(サイエンス調査隊、30名)	わくわく体験教室(サイエンス調査隊、30名)	NP0教育支援協会北関東	⑤地域の特産物である「梨」を食材利用し食育講座を行うことで、地域の特産物の魅力を再認識する機会づくりとする。	7月31日
	わくわく体験教室(群馬テレビ見学、30名)	わくわく体験教室(群馬テレビ見学、30名)	群馬テレビ	⑥中学生ボランティアに教室運営補助を依頼することで、生徒の自己有用感を高める機会づくりとする。	8月8日
	わくわく体験教室(夜のこわいおはなし会、30名)	わくわく体験教室(夜のこわいおはなし会、30名)	駒形読み聞かせの会		8月19日

分野別の仕掛け	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定
人暮らしの学び合い・ 権に対応する仕掛け	永明生涯まなび塾	①シニアのための家計防衛術 ②健康寿命を延ばそう！みんな元気に健康まえばし21!!	①群馬県金融広報委員会 ②市健康増進課職員	①高齢者が自らの人生経験をもち、積極的に参加することができるよう素養を高める。 ②各々の人生をふりかえる中で、自信をもって毎日の生活を送ることができるよう、学習機会を提供する。	9月6日、13日
		高齢者の健康に配慮した料理実習教室	永明地区食生活改善推進員会	①高齢者が、生きがいのある毎日を過ごすため、仲間づくりの機会の提供および生涯学習の啓発。 ②健康増進(健康寿命の増進)のための学習機会の提供。	10月17日
交流・地域ふれあいに対応する仕掛け (地域資源の活用)	こどもウクレレ教室	小中学生、20名程度	ウクレレマササズ、三ツ葉楽器	①製造量日本一を誇るウクレレ製造会社が地区内に存立することから、地域の産業を活用した講座を実施する。 ②子どもの頃から、地元産のウクレレに親しみ興味を持ってもらう。 ③ウクレレを通して、子どもどうし、また、地域の人や企業との交流を図る。 ④自主学習グループの構成員に講師を依頼することとで、学んだことの地域還元と地元講師の育成を図る。 ⑤小学生を持つ親を講師とすることで、子どもを含めた自主的な活動への発展を期待する。	8月9日
		「パソコンはじめて講座」の受講経験者またはローマ字入力ができる方、20名(宛名差込み印刷、住所録等データ作成の基礎)	共愛学園前橋国際大学の学生	①もう少しパソコンのスキルアップをしたい方を対象とし、表の作成・挿入、文書・ハガキの差し込み印刷等を学習する。 ②スキルアップすることで地域活動への更なる還元を目的とする。	9月9日～ 13日(5回)
地域の人材をつなぐ仕掛け (自主学習グループ・奨励員活動支援等)	古文書から郷土を知る	東上野町所蔵の古文書から分かる当時の暮らしについて等	共愛学園前橋国際大学准教授	古文書を通し地域の歴史を知る。	2月3日・4日
		永明公民館利用グループ連絡協議会第1回全体研修会	NPO法人：群馬ミュージックセラピー	①公民館利用グループ間の交流促進、学習活動の活性化。 ②学習成果の発表・地域還元への支援。 ③公民館活動等への理解促進。	4月15日
地域の人材をつなぐ仕掛け (自主学習グループ・奨励員活動支援等)	自治会長・生涯学習奨励員合同研修会	永明地区各町自治会長・生涯学習奨励員(講義「関東の華・厩橋から県都・前橋へ」)	前橋学センター	①生涯学習奨励員の資質向上 ②自治会との連携強化	5月27日

【検討中】

分野別の仕掛け	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定
子育て・親子支援	永明すくすく子育て教室	就学前の親と子	未定	親子のふれあい、親のリフレッシュ、学び、親どうしの交流。	11月
暮らしの学び合 い・人権	冬の子どもステーション(2回)	①オンラインピック選手といっしょにお抹茶体験教室 ②こども書き初め教室	①茶道部やよい会 ②永明ペン字クラブ	・公民館利用団体を講師にすることで知の循環を図る。 ・オンラインピック選手と交流することで、国際理解を図る機会づくりとする。	12月
	春の子どもステーション	料理教室(デザート)	永明地区食生活改善推進員会	・地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。 ・地域の世代交流を図る。	2月
交流・地域ふれあい	パソコン講座	市内在住在勤。エクセルの操作方法等	共愛学園前橋国際大学の学生	パソコン操作の習得。	2月
地域の人材	野外研修会	自治会長・生涯学習奨励員	未定	自治会長・奨励員の連携強化。知識の習得。	9月～10月

永明公民館 令和元年度事業(講座以外)

(1) 社会体育事業等への協力・援助

主催	月日	事業内容等	参加対象等	会場
各実施委員会	5/12 (日)	第35回のびゆくこどものつどい 第22回ふれあいの広場	地区住民 中学生ボランティア	永明公民館 木瀬中運動場
	10/6 (日)	第47回地区市民運動会	地区住民	木瀬中運動場
	11/2・3 (土日)	第40回地区文化祭	地区住民	永明公民館等
子ども会育成団体 連絡協議会	6/9 (日)	第44回子ども会卓球大会	小学生4年～6年	永明小体育館
	9/8 (日)	第32回親子スマイルボウリング大会	小学生4年～6年と 保護者	永明小体育館
	1/5 (日)	第38回子ども会上毛かるた大会	小学生1年～6年	永明小体育館
体育協会	5/26 (日)	第41回ソフトボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	登利平桃ノ木川 グラウンド
	7/7 (日)	軽スポーツ祭 (ディスコン)	地区住民	勤労福祉センター 体育館
	11/24 (日)	第41回卓球大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	勤労福祉センター 体育館
	2/23 (日)	第14回ソフトバレーボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	木瀬中体育館
他	11/2 (土)	永明地区 青少年を明るく育てる集い (地区別会議)	地区住民	永明公民館

(2) 社会福祉協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	会場
11/17 (日)	ふれあい交流会	社協役員・ 身障者等	原町自治会館
11/21 (木)	研修視察	社協役員等	未定

(3) 地域づくり協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	会場
5/12 (日)	炊き出し訓練 (のびゆく)	イベント参加者	永明公民館
8/22 (木)	防災講座	地域住民	永明公民館
8/31 (土)	ボウリング大会	地域住民	地区内ボウリング場
10/15(火)	健康づくり講座	地域住民	永明公民館
11/2 (土)	炊き出し訓練 (文化祭)	イベント参加者	永明公民館
12/7 (土)	健康ウォーキング大会	地域住民	永明地区内コース
3/8 (日)	地域づくり推進大会	地域住民	永明公民館

(4) 団体育成

自主学習グループへの援助と協力 (36団体)

(5) 子ども会育成指導者・インリーダー研修

【子ども会指導者講習会】

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者 (敬称略)	会場
6/22 (土)	リーダーキャンプ講習会 (事前講習会)	市子育連役員	永明公民館
6/30 (日)	リーダーキャンプ講習会 (実技等講習会)	市子育連役員	小平の里 (みどり市)

【子ども会育成指導者講習会】

月日	事業内容	講師・協力者 (敬称略)	会場
5/27 (月)	初級指導者講習会	市子育連役員	永明公民館
6/ 3 (月)	卓球審判講習会	永明卓球クラブ 矢島 一紀	永明公民館
6/22 (土)	リーダーキャンプ講習会 事前講習会	市子育連役員	永明公民館
9/ 2 (月)	スマイルボウリング審判 講習会	スポーツ推進委員 栗本 直樹	永明公民館
11/25 (月)	上毛かるた審判講習会	田代 光夫	永明公民館

○社会教育法(昭和24年法律第207号)「抜粋」

(目的)

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(公民館の事業)

第22条 公民館は、第二十条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- (1) 定期講座を開設すること。
- (2) 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- (3) 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- (4) 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- (5) 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- (6) その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

(公民館の運営方針)

第23条 公民館は、次の行為を行つてはならない。

- (1) もつぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
 - (2) 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。
- 2 市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない。
(の部分は「営利事業」とすべきものと思われる。)

(公民館運営審議会)

第29条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の定数、任期その他必要な事項は、市町村の条例で定める。

○前橋市公民館条例(昭和30年前橋市条例第24号)「抜粋」

(運営審議会及び運営推進委員会)

第7条 法第29条第1項の規定に基づき、前橋市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を前橋市中央公民館に置く。

2 その他の公民館に前橋市公民館運営推進委員会を置くことができる。

○前橋市公民館運営推進委員会規則(昭和37年前橋市教育委員会規則第8号)「抜粋」

(目的)

第1条 この規則は、前橋市公民館条例(昭和30年前橋市条例第24号)第7条第2項の規定により設置される前橋市公民館運営推進委員会(以下「推進委員会」という。)について定めることを目的とする。

(任務)

第2条 推進委員会は、公民館における各種事業の企画実施について調査審議し、公民館運営に協力するものとする。

(定数及び委嘱)

第3条 推進委員の定数は10人以内とし、社会教育法（昭和24年法律第207号）第30条に規定する者のうちから教育長に諮り、館長がこれを委嘱する。

（運営）

第4条 推進委員会の運営は、前橋市公民館運営審議会規則（昭和30年前橋市教育委員会規則第27号）の例によるものとする。

○前橋市公民館運営審議会規則（昭和30年前橋市教育委員会規則第27号）「抜粋」

（目的）

第1条 前橋市公民館条例（昭和30年前橋市条例第24号）第7条に規定する前橋市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）は館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとし、本規則の定めるところにより運営する。

（役員）

第2条 審議会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 1名

2. 役員を選出は、委員の互選による。

（役員の仕事）

第3条 委員長は、会務を総理する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるとき、これを代理する。

3 委員長、副委員長共に事故あるときは、委員の中で最年長者がこれを代行する。

（専門委員会）

第4条 審議会は、必要により専門委員会を設けることができる。

2 専門委員は、委員長がこれを委嘱する。

（会議）

第5条 会議は、中央公民館長の要請により委員長がこれを招集する。

2 会議は委員の半数以上の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。